

整形外科・脊椎班

脊椎脊髄診療において手術療法だけでなく、痛みや機能障害の原因を高い精度で診断、治療いたします。



診療科
ホームページ
QRコード



得意とする疾患と担当医師

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○		○	○	○
午後					

●後縦靱帯骨化症／前方骨化浮上術

吉井 俊貴（教授）、平井 高志（准教授）

●脊髄腫瘍／腫瘍摘出

吉井 俊貴（教授）、平井 高志（准教授）

●腰部脊柱管狭窄症・変性すべり症／後方除圧固定術

松倉 遊（講師）、江川 聡（特任講師）、小沼 博明（助教）

●成人脊柱変形／変形矯正術

松倉 遊（講師）、吉井 俊貴（教授）、平井 高志（准教授）

●頸椎症性脊髄症・筋萎縮症／頸椎前方固定術・頸椎後方除圧固定術

吉井 俊貴（教授）、平井 高志（准教授）、小沼 博明（助教）

●頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症性神経根症／人工椎間板置換術

吉井 俊貴（教授）、平井 高志（准教授）

●腰椎椎間板ヘルニア／椎間板内酵素注入療法

平井 高志（准教授）、松倉 遊（講師）



特色・診療内容

精度の高い神経学的診断から脊髄誘発磁界測定などを駆使した病態診断を行っています。最新のナビゲーションや、神経モニタリングを用いて、安全に手術を行うことを最優先にしております。特に頸椎後縦靱帯骨化症の重症例に対する前方除圧固定術は全国でも傑出した手術症例数です。また当院では可動椎間を温存する治療として若年者の頸椎疾患に対して頸椎椎間板置換術を積極的に行い、難治性神経障害に対して成果を上げています。思春期特発性側弯症だけではなく、加齢に伴う変形脊椎や骨粗鬆症性椎体骨折による成人脊柱変形にも対応し、良好な成績を得ています。



紹介時のお願い

後縦靱帯骨化症・黄色靱帯骨化症・頸椎椎間板ヘルニアの患者さんをご紹介します。ご紹介の際には、MRI画像（できればディスク）をお持ちください。当科では頸椎椎間板ヘルニアに対して新しい人工椎間板置換術を多く行っております。

手術を受けようか迷っている腰椎椎間板ヘルニアの患者さんも、手術と保存治療の中間治療である「椎間板内酵素注入療法」を受けることができます。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

※詳細はP.7をご覧ください。